

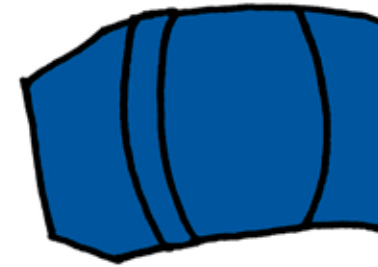


1.

本を用意。  
右綴じで例えます。



くる



ひっくり返すとこんな形です。  
片側のみ袋状になった折り返しと  
その反対側に帯があります。

※こちら裏面へは印刷出来ません。



2.

折り返しが袋状になってます。  
ここへ表紙を入れます。

3.

帯へ裏表紙を入れます。

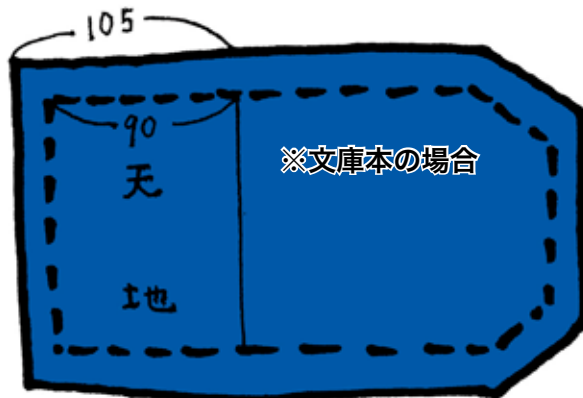


4. 105mm

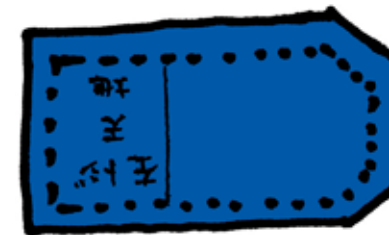


5.

完成!



←点線は印刷範囲です。(仕上りの 15mm 内側) →



左綴じ本用の場合で同様にしたい場合は、  
上記の様にテンプレートと天地逆にしたデザインにしたら ok です。

文庫の場合、天地をテンプレートの向きで作成し、右綴じの本をセットした場合、左から仕上り 105mm(印刷範囲は 90mm) が表紙になります。  
A5 の場合、天地をテンプレートの向きで作成し、右綴じの本をセットした場合、左から仕上り 148mm(印刷範囲は 133mm) が表紙になります。  
新書の場合、セットする本の大きさによって変わります。